

授業科目名	社会福祉現場実習指導		担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目		施行規則に定める 科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (180時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	社会福祉施設実習 (1年次春季) の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習 (2年次夏季) の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期に行う。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等に参加する必要がある。			
到達目標	1.社会福祉現場実習 (施設) の意義について、理解する 2.社会福祉現場実習 (施設) に臨む心構えができる 3.社会福祉施設について、その目的や役割を理解する 4.社会福祉現場実習にあたり、自らの課題が設定できる			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編者			
参考書・ 参考資料等	「最新 保育士養成講座 第4巻社会福祉[改訂1版]」山縣文治・鶴宏史 編著, 2022, 全国社会福祉協議会			
成績評価の方法	授業参加態度 : 30% / 課題シートの提出 (毎回) : 60% / 発表内容 : 10%			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、「実習ハンドブック」と授業時に配付した資料で毎回復習しておきましょう。また、教育実習・保育実習を振り返ることで、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習に活かしましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。 オフィスアワー : 授業終了後 (研究室)			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	オリエンテーション 社会福祉現場実習 (施設) の意義と目的			1
第2回	社会福祉の理念/社会福祉援助技術			1,3
第3回	社会福祉施設とは			3
第4回	社会福祉現場実習 (施設) の心得と方法			2
第5回	社会福祉現場実習 (施設) の課題設定① (事前設定)			4
第6回	社会福祉現場実習 (施設) の記録の書き方			1,2
第7回	児童福祉施設①児童養護施設等			3
第8回	児童福祉施設②乳児院等			3
第9回	障害者支援施設			3
第10回	高齢者施設			3
第11回	生活保護施設			3
第12回	実習施設の前学習①グループワーク, グループ①発表			2,3,4
第13回	実習施設の前学習②グループワーク, グループ②発表			2,3,4
第14回	実習施設の前学習③グループワーク, グループ③発表			2,3,4
第15回	社会福祉現場実習 (施設) の課題設定② (最終課題設定) まとめ			1,2,3,4